



社協は、地域福祉
（助け合いの地域づくり）に
取り組む団体です！

ピオーラちゃん

第104号

令和4年5月発行

にいみ 社協だより

発行：社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

〒718-0016 新見市金谷640番地の1 TEL(0867)72-7306 FAX(0867)71-2088
E-mail:syakyo-honsho-1@ex.city.niimi.okayama.jp URL:http://www.shakyo-niimi.jp

無理なく楽しい地域づくりを



3月12日に、新見市地域福祉センターで、「に
いみ版無理しない地域づくり講座」22プレ講座
を開催し、13名の参加がありました。

この講座は、地域活動の担い手や協力者を育
成することを目的として、6月から実施する「に
いみ版無理しない地域づくり講座」22の体験
会として実施したもので、全国各地で地域づく
り入門講座を手がける有限会社工コカレッジ代
表取締役の尾野寛明さんを講師に迎え、地域活
動など自分のやってみたいことを実現するプロ
セスなどについて学びました。

また、ゲスト講師として、岡山市で地域食堂
を実施している岡輝みんな食堂代表の圓山典洋
さんを交え、どのように活動に取り組んできた
かなどについて紹介していただきました。

参加者は、2人の講話を参考に、自分の気
になることや興味のあることについて熱心に意見
を交わしました。

参加者からは、「自分がやってみたいことに
他の参加者が賛同してくれたので、安心して話
ができた」「自分と同じような思いを持っている
人があることを知ることができて良かった」
などの感想がありました。

本会では、このような講座を通じて、地域活
動の担い手の人材育成を行ってまいります。

令和4年度 事業計画



基本理念

ここにこ いきいき みんなでつくろうやさしいまち
～地域共生社会の実現に向けて～

基本目標

1. 福祉の心を育てよう
2. とともに支えあおう
3. 福祉環境の充実を図ろう

基本方針

新型コロナウイルスの発生から3年目を迎えましたが、新たな変異株の出現により、依然として感染者が増加し、市民生活や地域経済に大きな打撃を与えるとともに、生活困窮者の増加や、社会的孤立、引きこもりなどの問題が浮き彫りになっている状況にあります。

また、地域が主体的に行っている各種事業の中止や、サロン事業などの住民による支援活動の縮小などにより、地域での人と人とのつながりが疎遠になり、孤立等の課題の潜在化が危惧されております。

本会では、こうした状況の中、今年度も、感染症予防対策を徹底し、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進し、第3次新見市地域福祉活動計画の基本理念「ここにこ いきいき みんなでつくろうやさしいまち～地域共生社会の実現に向けて～」の達成に向けて、また、ウィズコロナの社会を見据え、3つの基本目標に基づいて各種事業の推進を図ってまいります。

■地域福祉推進事業

福祉の心を育てよう

- ・福祉大会の開催
- ・福祉情報の発信(社協だより・Facebook等)
- ・社協会員の加入促進
- ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動
- ・小学生向け福祉教育(ちよボラ)
- ・夏のボランティア体験(中高生対象)
- ・出前福祉教室
- ・災害ボランティア推進事業
- ・傾聴ボランティア推進事業
- ・手話講座
- ・ボランティア・NPO団体連携事業

ともに支えあおう

- ・ふれあいいきいきサロン、ひだまりサロンの推進
- ・子育て支援事業
- ・福祉委員設置・活動支援
- ・独居高齢者宅戸別訪問事業
- ・友愛訪問事業
- ・地域ささえあい推進事業(生活支援コーデイネーター事業)
- ・地区社会福祉協議会活動支援・組織強化
- ・無理しない地域づくり講座の開催

福祉環境の充実を図ろう

■介護保険・生活支援事業

- ・なんでも相談会
- ・心配ごと相談・法律相談
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・法人後見・権利擁護推進事業
- ・日常生活自立支援事業
- ・生活福祉資金貸付事業
- ① 介護保険事業・日常生活支援総合事業
- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業
- ・通所介護事業
- ・訪問入浴介護事業
- ② 障害者居宅介護支援事業
- ・障害者福祉サービス事業
- ・障害者移動支援事業
- ・障害者デイサービス事業
- ・障害児入浴サービス事業
- ・障害者訪問入浴サービス事業
- ③ 生活支援事業
- ・高齢者等生活応援事業
- ・新見市産後・子育て支援ヘルパー訪問事業
- ・介護者のつどい・くらしの家のピオーラカフェ

その他、社会福祉士・介護福祉士などの実習受入による人材育成・福祉団体の活動支援を行います。

令和4年度 資金収支予算

収入総額 346,107千円

収入の内訳

会費収入	8,711千円	寄附金収入	3,800千円
補助金収入	88,033千円	共同募金配分金収入	9,277千円
受託金収入	60,679千円	事業収入	6,956千円
介護保険事業収入	166,589千円	障害福祉サービス等事業収入	1,234千円
雑収入・利息収入	828千円		

支出総額 337,991千円

支出の内訳

地域福祉推進事業 9,956千円

- 福祉委員の設置・活動推進、地区社協の活動充実・組織強化、福祉連絡会・小地域ケア会議の開催など、住民主体の福祉活動の支援や推進
- 災害ボランティア・傾聴ボランティアの養成や、福祉意識醸成のための出前福祉教室の実施等
- 友愛訪問・歳末たすけあい訪問、にいみあんしんカードの作成等、高齢者等が安心して暮らしていくための支援

介護保険事業等 168,879千円

- 居宅介護支援、訪問介護、通所介護、訪問入浴介護
- 障害者居宅介護、生活介護、移動支援
- 介護者の集い事業等



▲夏のボランティア体験
（「社会鍋」を使った募金活動）

受託事業 65,301千円

新見市等からの委託を受け、次の事業を行います。

- 生活支援コーディネーターの配置、地域における支え合い活動の推進
- ふれあいいいききサロンの推進
- 自立相談支援事業、家計改善支援事業
- 法人後見・権利擁護推進事業
- 判断能力が不十分な方の金銭管理等の支援（日常生活自立支援事業）
- ピオーラカフェ（認知症カフェ）

法人運営事業 93,855千円

- 社協の運営経費、福祉団体への助成等
- 新見市地域福祉センターの運営管理等



▲ふれあいいいききサロン



地域のアンテナ役

福祉委員

福祉委員は、身近な地域の方の困りごと等に早く気づき、民生委員・児童委員、主任児童委員、社協等につなぐ“地域のアンテナ役”になる役割を持っています。

感染症の流行により、地域での交流の場や外出の機会が減り、高齢者の方などの閉じこもりや孤立等が懸念されることから、小さな変化にいち早く気づき、何かあった場合に相談し合えるよう、日頃からの声かけや見守りによって地域とのつながりを持つことが大切です。

身近な地域での見守り活動にご協力をいただきますよう、よろしくお願ひします。

たとえば、ご近所でこのようなことはありませんか？



最近、外出している姿を見かけなくなった



郵便物や新聞が郵便受けにたまっている



夜になっても明かりがつかない

このようなことに気づいたら...



地区の民生委員や社協等に連絡



地区の民生委員や社協等が状況確認



地域での見守りや福祉サービスの利用等につながる

【主な役割】

■声かけ・見守り活動

- ・身近な地域の困りごとなどに気づいた時に、民生委員や社協に連絡する
- ・見守りが必要な高齢者などに声をかける

■地域福祉活動や社協活動への参加・協力

- ・地区社協等が実施する交流活動や各種会議や研修会などへ参加、協力をする
- ・社協が実施する地域での福祉活動・福祉連絡会や福祉に関する研修会などへ参加・協力する

福祉委員活動の際には、基本的な感染症対策にご留意ください。



3月5日に、新見市地域福祉センターで第7回「なんでも相談会」を開催しました。この相談会は、平成29年から実施しているもので、高齢者や障がい者等地域住民が抱える困りごとに対して、様々な専門家に無料で相談ができる相談会です。今回は、市内外の弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士、一級建築士、社会福祉士、介護支援専門員など様々な分野の専門家25名が「相続」「不動産」「借金」「介護」など20件の相談に応じました。

次回の「なんでも相談会」は、6月25日(土)の13時から開催します。予約不要・無料で専門家が相談に応じますので、お気軽にお越しください。



▲相談員の皆さん「次回も気軽にご相談ください」

なんでも相談会



哲西地区研修会

哲西地区では、3月24日に今年度2回目の福祉連絡会と兼ねて、新見公立大学の山本浩史教授を講師に迎えて、地域づくりに関する研修会を開催しました。山本教授は、哲西地域に今ある互助力（ご近所同士で助けあう力）をこの先も残していくには、「助けあい」を確かなものにしていくこと、そのために色々な「取組」を増やし、生きがいとなる仕事を創っていくことが大切だと話されました。

また、地域に「取組」を根付かせるためには「仕組み（組織）」を創ることが大切で、その「仕組み」が「集落の資源」になれば住みやすい地域になること、併せて地域の中に「縁」をつくらせてつなげていく「居場所」があれば孤立防止や介護予防につながることを事例を交えて説明していただきました。

.....
 本会では、今後もこのような研修会などを通して、多くの地区に助け合い・支え合いの意識が広がるよう取り組んでまいります。



▲哲西地区研修会の様子

～ 創縁 ～
 縁をつくって
 つなげていく



▶講師の山本教授

神郷北地区小地域ケア会議研修会

3月26日に、新郷市民センターで、地域づくりに関する研修会を開催し、民生委員や福祉委員、各種団体代表者や一般の方など22名の参加がありました。研修会では、新見公立大学の山本教授を講師に招き、笹尾地区（神郷油野）で月に1回地域食堂（地域の誰もが気軽に参加できる食堂）を実施している伊東朋子さんをゲスト講師に迎えて、伊東さんの活動を掘り下げながら、講演が進められました。

山本教授は、伊東さんが行っているような地域食堂には、つながりづくりや孤立感の解消が期待できるだけでなく、「食」を通して参加者の体調などの変化に気づききっかけになるなど様々な効果があることについて紹介し、地域活動の大切さや、活動を行う上で気をつけることなどについて話されました。

参加者からは、「地域活動をする上で、無理をしすぎないことや、『まずはやってみよう』という気持ちが大切」などの感想があり、今後の地域づくりにつながる研修会になりました。



▲神郷北地区研修会の様子



▲ゲスト講師の伊東さん

新見市成年後見相談センター

当センターでは高齢者や障害者の方等で日常生活において支援が必要な状態にもかかわらず、環境上の問題や経済的な理由等により十分な支援が受けられていない方などに対して、成年後見制度等、適切な権利擁護の支援が行われるよう各種相談に応じます。どうぞお気軽にご相談ください。

例えば…

- ・預貯金の管理や解約ができない。
- ・福祉施設の入所などの契約ができない。
- ・頼れる親族がいない。
- ・消費者トラブルが怖い。
- ・成年後見制度について勉強したい。など

こんな時はぜひご相談ください

相談無料・秘密厳守★

成年後見相談センターの役割

- ・電話や来所により、ご本人の状況、お困りの内容についての相談に応じます。
- ・相談された内容等について、成年後見制度等の必要な支援について検討し、専門職や関係機関と連携して問題解決のお手伝いを行います。
- ・成年後見制度の普及啓発、利用促進を行います。

受付時間：月曜日～金曜日

9:00～17:00



電話 **0867-72-7306**

生活支援員研修会を開催しました

3月2日に、日常生活自立支援事業の利用者の方の相談援助にあたる生活支援員を対象に、相談面接時の基本的な視点等について理解を深め、今後の活動へ活かすことを目的とした研修会を行いました。

研修会では、新見市における本事業の現状を担当職員が報告した後、ノートルダム清心女子大学人間生活学部人間生活学科の中井俊雄准教授から、対人援助の技術や聞き上手になるコツなどについて学び、相談者に寄り添った支援の大切さを再確認しました。

本会では、様々な相談事業を実施しており、今回のような研修を通じて、職員や相談員のスキルアップを行っています。

日常生活自立支援事業とは、判断能力が不十分な方等の福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を支援するサービスで、岡山県社会福祉協議会の委託を受けて本会が実施しています。



「寄付ありがとうございました」

令和4年2月1日から令和4年3月31日までに、本会本所・各支所に寄せられたご寄付について報告いたします。
(敬称略・順不同)

寄せられた寄付金は各種団体助成、友愛訪問事業、ふれあいいきいきサロンなどの福祉活動に有意義に活用させていただきます。

●香典返し

- (足立) 城谷 和美 (亡母) 政子
- (上熊谷) 戸田 陽一 (亡母) 富子
- (唐松) 伴 藤 吉彦 (亡父) 光永
- (唐松) 宮地 多恵子 (亡兄) 順一
- (草間) 黒川 徹 (亡父) 惇
- (正田) 杉野 通紀 (亡母) 廣子
- (高尾) 宮本 登 (亡母) 谷岡スミ子
- (高尾) 波辺 雅洋 (亡父) 邦美
- (千屋井原) 安藤 裕子 (亡母) 横田美彌子
- (豊永赤馬) 宮脇 知之 (亡母) 陽子
- (新見) 上社 親栄 (亡夫) 達郎
- (新見) 三羽 浩志 (亡父) 淳介
- (新見) 荒木 義雄 (亡姉) 真壁和子
- (新見) 宮永 孝雄 (亡母) 道子
- (新見) 堀家 達雄 (亡子) 敬文
- (大佐小阪部) 村上 公江 (亡父) 葆
- (大佐田治部) 山川 喜久 (亡妻) まどか
- (大佐永富) 金田 一孝 (亡姉) 昌子
- (神郷油野) 丸山 誠 (亡父) 宜夫
- (神郷油野) 矢吹 鉄史 (亡父) 忠義
- (哲多町蚊家) 田村 勝美 (亡母) 梅子
- (哲多町本郷) 三村 泉 (亡父) 守
- (哲多町本郷) 吉田 文昭 (亡妻) 美智子
- (哲西町上神代) 藤川 実三 (亡妻) 菊恵
- (哲西町上神代) 塚本 陽満 (亡母) 久恵
- (哲西町上神代) 塚原 敏明 (亡母) スマ子
- (哲西町八鳥) 名越 貴 (亡母) 静子

●一般寄付

- (大佐小阪部) 清廣 慶生 (上) 市 亀山 寛志
- 官製はがき200枚

フードドライブ事業へ
食料等の寄付

吉國朋美、亀山寛志
ほか7件45点



相談所開設のお知らせ

各種相談について、秘密は厳守いたします。

心配ごと相談		
5月18日(水)	9:00~12:00	新見市役所南庁舎
6月15日(水)	9:00~12:00	新見市役所南庁舎

法律相談(要予約)		
5月18日(水)	10:00~15:00	新見市地域福祉センター
6月15日(水)	10:00~15:00	新見市地域福祉センター

法律相談予約先 ☎0867-72-7306
社協 地域福祉推進課

「モルック」を寄贈いただきました

ふれあいいきいきサロン「さつき会」代表の富谷賢三さんから、手作りの「モルック」の一式を寄贈いただきました。

「モルック」は、フィンランド発祥の木の棒を投げて得点を競うニュースポーツで、ルールが分かりやすく誰でも気軽に楽しむことができます。

寄贈いただいたモルック一式は、希望に応じて貸出を行いますので、サロンや地域活動で試してみたい方は気軽にお問い合わせください。

(お問い合わせ先: ☎72-7306)

社協 地域福祉推進課



手作りのモルック一式

本会では、他にもレクリエーション用品の貸出を行っていますので、気軽にお問い合わせください。

一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

主に休業された方向け（緊急小口資金）

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、少額の費用の貸付を行います。

■対象者

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

■貸付上限額 20万円以内

(次のア～カに該当する場合)

- ア 世帯員の中に新型コロナウイルス感染症の罹患者等がいるとき
- イ 世帯員に要介護者がいるとき
- ウ 世帯員が4人以上いるとき
- エ 世帯員に下記の①又は②の子の世話をを行うことが必要となった労働者がいるとき

- ①新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、臨時休業した小学校等に通う子
 - ②風邪症状など新型コロナウイルスに感染した恐れのある、小学校等に通う子
 - オ 世帯員に個人事業主等があり、その収入減少による生活に要する費用が不足するとき
 - カ 上記以外で休業等による収入の減少等で生活費用の貸付が必要な場合
- ・今後10万円を超える資金需要がある場合等

- 据置期間 1年以内
- 償還期限 2年以内
- 貸付利子・保証人 無利子・不要

主に失業された方等向け（総合支援資金）

生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行います。

■対象者

新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

■貸付上限額

- ・(二人以上)月20万円以内

- ・(単身) 月15万円以内
- 貸付期間：原則3月以内
- 据置期間 1年以内
- 償還期限 10年以内
- 貸付利子・保証人 無利子・不要

お問い合わせ・相談窓口：新見市社会福祉協議会 新見市金谷640-1 ☎0867-72-7306

※実施主体：岡山県社会福祉協議会（岡山市北区南方2丁目13-1 ☎086-226-3544）

※受付期間は、令和4年6月30日(木)までです。(期間延長)

助成車両の紹介

3月24日に日本財団の助成を受けて、神郷デイサービスセンターの送迎車両を更新しました。

この車両を活用して、利用者の皆さま一人ひとりに寄り添った良質な介護サービスを提供できるよう職員一同取り組んでまいります。



ピオーラカフェ

5月25日(水)13:30～15:30

場 所▶新見市地域福祉センター

内 容▶薬剤師による講話など

参加費▶200円、申し込み不要



介護者のつどい・くつろぎの家

6月18日(土)10:00～15:00

場 所▶神郷地域福祉センター

参加費▶(介護者のつどい)1,500円
(くつろぎの家)1,200円

※要申し込み

(☎72-7316 社協 介護保険課)

